

ネパールの手漉き紙 ロクタ紙の作り方

FOR CALENDAR

原料のロクタツリーは成木になるまでの期間が短く（3～5年）
また、根を残して伐採すると再生する循環性の高い環境にやさしい植物です。

強く長い繊維と虫に強い特徴をもつロクタペーパーは、
紀元前の古来より変わらぬ手法により一枚一枚手で漉いて作られています。
ナチュラルな素材と工程により作られたロクタペーパーは近年カレンダーや
ポストカードとして世界中に輸出され、現在ネパールの輸出産業でも第3位となり、
ヒマラヤ山麓の村人たちの貴重な現金収入となっています。

現在、現地では乱伐によるロクタの不足など深刻な問題が発生しております。
村人たちが計画的にロクタを育てて
この素晴らしい天然の資源と何千年と続いている伝統産業を絶やさぬよう、
トモコーポレーションはロクタの計画的な生育プロジェクトを応援しております。

SAVE THE FUTURE



1 ヒマラヤ高地に生息するロクタ。
3年で成木となり、再び種を落とします。
再勢力のある紙資源で地球に優しい素材です。

2 ロクタの靱皮をとります。

3 工場にロクタを運びます。
運搬も人力です。

4 ロクタを水につけ柔らかくします。



5 ロクタを煮る。



6 チリをとり



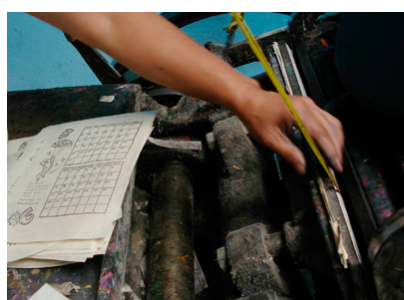
7 ロクタを叩解します



8 型を使って漉き込みます



9 広大なヒマラヤの大地で干します。



10 いよいよ印刷です。



11 細かい所は手でペイントします。



12 パッキングして完成です。

